



# 当グループが取り組むCSR活動

**2019年11月12日**

**株式会社 横河ブリッジホールディングス**

**常務取締役 高木 清次**



# 目次

はじめに：激甚化・頻発する自然災害への対応

## 1：災害復旧・復興活動

- (1) 東日本大震災での緊急補修
- (2) 東日本大震災の復興事業
- (3) 熊本地震の復旧工事

## 2：事後保全から予防保全へ

- (1) 影響が少ない施工方法
- (2) 耐震製品
- (3) 津波に備える

## 3：建設人材育成、担い手の確保

- (1) 女性技術者の育成
- (2) 現場見学会・体験学習会



# 激甚化・頻発する自然災害への対応

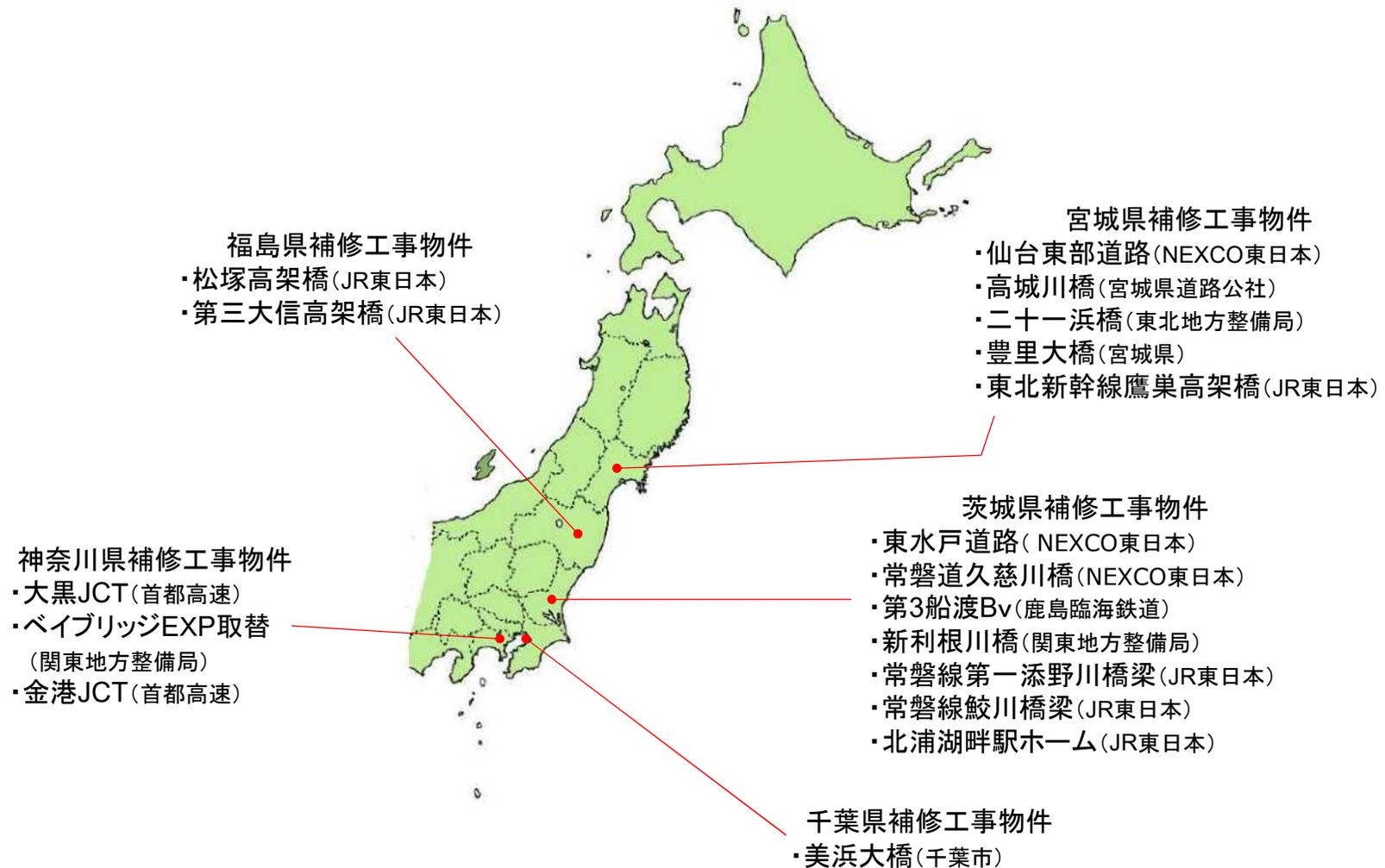
・わが国では毎年のように水災害・地震などの自然災害が発生しており、今後、地球温暖化に伴う気候変動により、さらに激甚化・頻発することが予想される。

→自然災害の多いわが国において、橋梁や道路をはじめとしたインフラを維持し、地域社会の安全・安心の確保を担う守り手となることが当グループの使命



# 1 : 災害復旧・復興活動

# (1) 東日本大震災での緊急補修





## (2)① 東日本大震災の復興事業 陸前高田市 「希望のかけ橋」



東日本大震災で甚大な津波被害を受けた陸前高田市街を嵩上げ復興する被災市街地復興整備事業の1つで、気仙沼側の山を切り崩し、気仙川の対岸にある嵩上げ区間に、直接ベルトコンベヤーで土砂を運搬するための吊橋です。

2014年2月に完成し、復興のための土砂運搬に使用されました





## (2)② 東日本大震災の復興事業 新気仙大橋



本工事は、「東日本大震災からの早期復興」を実現するために行われている三陸沿岸道路・唐桑高田道路事業の一環で、「災害に強い道路ネットワーク」の一部を形成するものです。

2014年3月に着工し、工場製作工、架設工、現場塗装工、床版工、壁高欄工などを行いました。

## (2)③ 東日本大震災の復旧工事 福島原発での緊急対応



画像提供: 鹿島建設株式会社

福島原発作業チームが総理大臣表彰を受けました。  
本工事は、水素爆発した3号機上に使用済み燃料棒を取り出すためのクレーンを設置するガーダー鉄骨と、クレーンを覆うドーム屋根の設置工事でした。

# (3) 熊本地震の復旧工事 木山川橋



地震により破損した固定沓

2016年4月に発生した熊本地震で木山川橋の橋桁が橋軸方向(北側)に約500mm移動し、支承が破壊され、主桁の下フランジに座屈や変形が確認されました。復旧工事は先に下り線、後に上り線という順番で施工し、下り線を施工している間は上り線を対面通行することで、交通を止めることなく復旧できました。



ベント設置状況



補修完了



## 2: 事後保全から予防保全へ

# (1) 影響が少ない施工方法

## 小仁熊橋床版取替工事



本工事は、開通から23年経過した長野自動車道の安曇野IC～麻績IC間に位置する小仁熊橋の床版を取り替える工事で、2017年12月に完了しました。

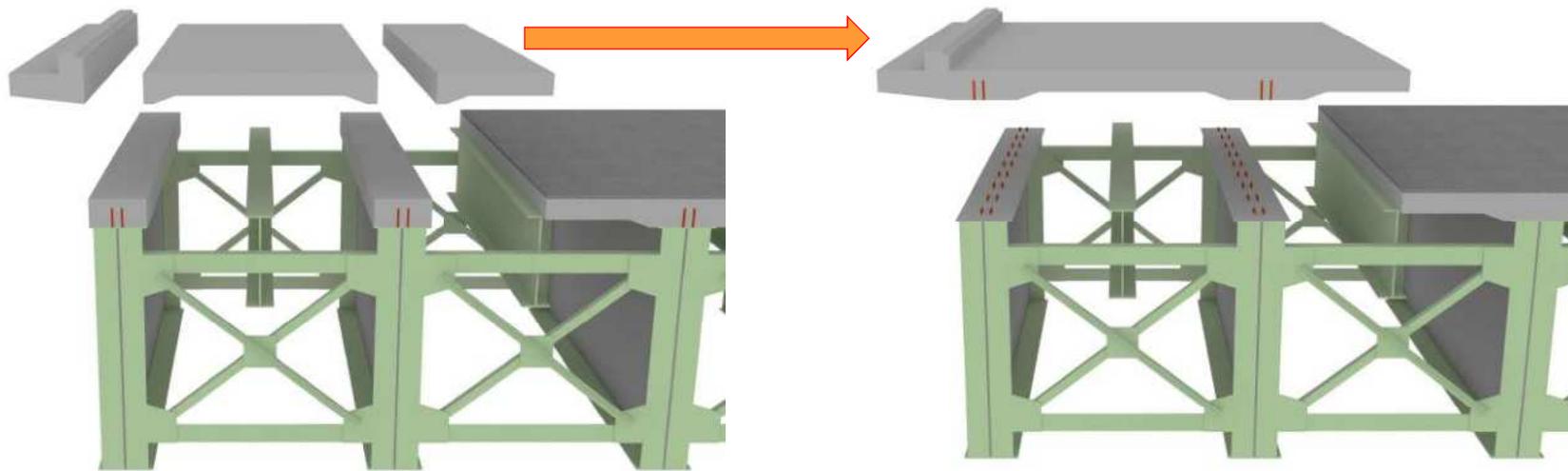
床版形式は、プレキャストPC床版を採用し、床版撤去から新規床版敷設までを30日(昼間は撤去、夜間は敷設)で施工し、工期短縮を実現しました。

# (1) 影響が少ない施工方法

## 新工法「サブマリンスライサー」の開発

### 特長

1. 施工ステップの削減によって交通規制期間が短縮
2. 排水や騒音を抑制するため、周辺環境への影響も低減
3. 床版が安定した状態で作業するため安全性が向上



従来工法

新工法

※2019年8月 株式会社横河ブリッジ、株式会社大林組、  
コンクリートコーリング株式会社の共同開発

## (2) 耐震製品

緩衝機能付き落橋防止チェーン



緩衝機能付き落橋防止チェーンは、橋梁における落橋防止構造の一つで、地震時に橋梁上部工が落下することを確実に防ぐとともに、地震時の衝撃的な荷重を緩和する機能を有します。

パワーダンパー



パワーダンパーは、橋梁上部一下部構造間に設置する耐震性能に優れた粘性型ダンパーです。地震時には内部の粘性オイルにより振動エネルギーを吸収し、上部構造の揺れを抑制します。

# (3) 津波に備える

## プレキャスト防潮堤



岩手県宮古港藤原地区では東日本大震災での津波の被害を受け、防潮堤の整備が進められています。この防潮堤は天端高さTP +10.4メートル、総延長約2.1キロメートルの規模で、巨大地震時の津波に対する防災・減災を図る計画です。





# 3: 建設人材育成・担い手の確保

# (1) 女性技術者の育成



2019年8月、横河ブリッジ 設計本部 東京設計第一部 設計情報課の大瀧士郎課長が 技術同友会の第6回「女性技術者育成功労賞」を受賞しました。この賞は、女性技術者育成において顕著な成果をあげた個人を表彰するもので、審査基準である「育成の実績」「困難度」「継続性」が高く評価されました。

## (2) 現場見学会



### 東海環状道路 関広見IC西本線橋

2018年10月23日、24日に中部地方整備局から発注された東海環状道路 関広見IC西本線橋の現場に地元の岡崎工業高校の学生の皆様を招き現場見学会を開催いたしました。当日は現場職員による工事概要の説明を行ったほか、高所作業車に乗車して普段は見ることのない高い場所から現場の様子を見てもらいました。



## (2) 体験学習会

横河ブリッジ大阪工場  
(敷地面積125,413㎡)



大谷橋上部工事(近畿自動車道紀伊線)の施工現場に近いというご縁で、2013年11月29日に和歌山県田辺市立会津小学校の5年生約80名が、学校の社会科学習の一環として株式会社横河ブリッジ大阪工場にて体験学習を行いました。

当日は、「橋ができるまで」の説明を行い、橋のペーパークラフトの作成を通して橋の構造等を学んでもらい、その後、仮組立中の桁や工場内での溶接の様子を見学、実際のハイテンボルトを使用し、ボルトの本締体験をしてもらいました。



# 1. 企業理念

「社会公共への奉仕と健全経営」

# 2. 経営ビジョン

## ①長期的な橋守り

架け替え、点検・補修等の包括管理など長期的に  
橋梁を守るためのバックアップ

## ②多角的な鋼構造エンジニアリング

新しいことへのチャレンジによる事業の拡大

## ③強固な経営基盤の構築

生産効率向上、保有資産の有効活用など筋肉質  
で強固な体制づくり



ご清聴ありがとうございました